

# 田原市その他施設長寿命化計画

## (個別施設計画)

**施設類型**： 14 その他施設

令和3年3月

防災対策課・商工観光課・街づくり推進課

## 目 次

1	背景・目的等	1
	（1）背景と目的	1
	（2）計画期間	1
	（3）対象施設	2
2	施設の実態	3
	（1）施設の概要	3
	ア 位置図	3
	イ 利用状況	3
	ウ 運営状況	4
	（2）施設の将来の必要コスト	7
	ア 将来の更新コスト	7
	イ 将来の維持管理コスト	8
	ウ 将来必要となる施設のコスト	8
	（3）施設の老朽化状況	9
	ア 構造躯体以外の劣化状況等の評価	9
	（4）施設評価	11
	ア 1人当たりにかかるコスト	11
	イ 床面積1㎡当たりにかかるコスト	11
	ウ 施設健全度	11
3	対策の優先順位の考え方	12
	（1）施設の状態	12
	（2）施設が果たしている役割等	12
	（3）施設整備の基本的な方針	12
	ア 施設の規模・配置等の方針	12
	イ 今後の方向性	12
	（4）改修等の基本的な方針	13
	ア 施設の目標使用年数、改修周期の設定等	13
	イ 長寿命化の方針	14
	ウ 予防保全の方針	14
	（5）対策内容と実施時期	16
	（6）長寿命化のコストの見通し、効果	20
4	計画の推進	20
	（1）推進体制等の整備	20
	（2）フォローアップの体制	20

# 1 背景・目的等

## (1) 背景と目的

田原市は、平成 15 年及び平成 17 年の 2 度の合併を経て、渥美半島の大半を占めることとなり、県内 7 位となる 191.11 km<sup>2</sup>に及ぶ市の区域内には、旧町ごとに使用していた庁舎や文化ホール等、多種多様な施設が整備されています。

その中には、目的が重複しているもの、市民ニーズの多様化や社会環境の変化によって利用率が低下しているものもあり、また、本市が保有する施設は昭和 50 年代に整備されたものが多く、今後、一定期間に大規模改修や建替えが集中することが予測されています。

そのため、田原市では、公共施設の設置目的や利用実態、コストなどの現状を分かりやすく「見える化」し、広く市民に知ってもらう啓発資料とするため、平成 26 年 2 月に「田原市公共施設白書」を取りまとめるとともに、同年 12 月には、将来にわたって持続的に公共サービスを提供していくため、本市の公共施設のあり方の基本的な考え方を取りまとめた「田原市公共施設適正化計画（平成 30 年 12 月廃止）」を策定しました。

また、国においても、厳しい財政状況や人口減少などの状況を踏まえ、地方公共団体が公共施設等の全体状況を把握し、長期的な視点をもって、更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うことにより、財政負担の軽減・平準化や公共施設等の最適な配置などの実現を推進するため、全国の地方公共団体に対し、公共施設等総合管理計画の策定を要請し、田原市では、平成 28 年 2 月、道路や下水道などインフラ施設を含めた「田原市公共施設等総合管理計画（以下「総合管理計画」という。）」を取りまとめました。（平成 30 年 12 月改定）

今回定める「田原市その他施設長寿命化計画（以下「本計画」という。）」は、総合管理計画に基づき「その他施設」の維持管理及び更新等に係る中長期的な取組の方向性を明らかにする計画であり、総合管理計画に基づく「その他施設」の個別施設計画として位置付けるものです。

## (2) 計画期間

総合管理計画の計画期間は、平成 30 年度から令和 19 年度までの 20 年間に計画期間としていることから、本計画の計画期間を、令和 3 年度から令和 19 年度までの 17 年間とします。

ただし、社会情勢の変化や国・県の補助制度の変更、各施設の点検結果、劣化状況に応じて適宜見直しを図ります。

### (3) 対象施設

本計画の対象施設は、総合管理計画で個別施設計画を策定する施設とした以下の施設とします。なお、「その他施設」に分類される施設のうち、田原市江比間野外活動センターについては、「田原市社会教育施設等長寿命化計画」の対象としていますので、本計画の対象外とします。

#### 対象施設

##### 【防災対策課所管】

施設 I D	施設名	床面積 (㎡)	建築年度	構造	階数	経過年数
341	田原市拠点防災備蓄倉庫 (田原市報民倉)	288.96	H15	鉄骨造 (地上 1 階) RC 造 (地下 1 階)	2	17
合計		288.96				

##### 【商工観光課所管】

施設 I D	施設名	建物名	床面積 (㎡)	建築年度	構造	階数	経過年数
43	セントファール公共駐車 場	通路階段	713.97	H16	鉄筋コンクリート	2	16
		地下駐車場	5,823.04	H16	鉄筋コンクリート	2	16
合計			6,537.01				

##### 【街づくり推進課所管】

施設 I D	施設名	床面積 (㎡)	建築年度	構造	階数	経過年数	
143	田原駅南公共駐車場	4,726.97	H22	鉄筋コンクリート	4	10	
287	谷ノ口公園	管理棟	82.81	H24	木造	1	8
		管理棟	82.81	H26	木造	1	6
		四阿	11.04	H27	木造	1	5
		炊事棟	37.27	H27	木造	1	5
		倉庫	9.94	H27	木造	1	5
		多目的ホール	205.88	H28	木造	1	4
		研修棟	56.32	H29	木造	1	3
合計		5,213.04					

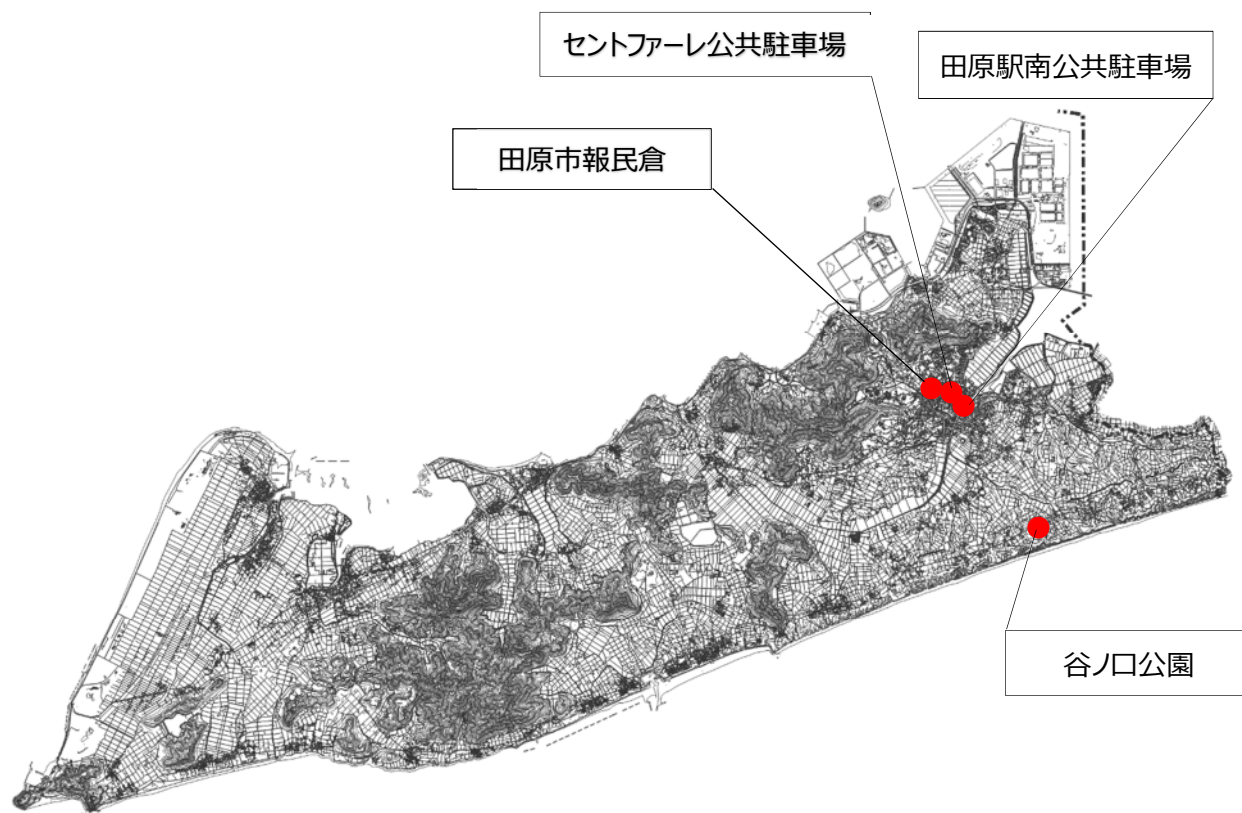
※経過年数は、令和 3 年 3 月末時点

※施設 I D は「資産経営システム」の登録番号を指す

## 2 施設の実態

### (1) 施設の概要

#### ア 位置



#### イ 利用状況

##### 【田原市報民倉】

報民倉は、田原市の拠点備蓄倉庫として、食糧（アルファ米、乾パン等）、飲料水、毛布、組立式簡易トイレ、間仕切り、非常用発電機、テント等の公的備蓄物品の備蓄に活用しています。

## ■ 利用人数の推移

### 【セントファーレ公共駐車場】

(単位：人)

	H27	H28	H29	H30	R1
セントファーレ客数	946,763	961,431	941,298	905,051	900,094

セントファーレ公共駐車場は1階の平面駐車場と地下駐車場に分かれています。主な利用客であるセントファーレの客数は、平成28年度をピークに減少傾向です。

### 【田原駅南公共駐車場、谷ノ口公園】

(単位：人)

施設名	H27	H28	H29	H30	R1
田原駅南公共駐車場	62,060	56,455	57,648	61,291	66,499
谷ノ口公園 野営場			10,462	9,370	14,309
谷ノ口公園 会議室			54	50	169
谷ノ口公園 多目的ホール			134	868	1,444
谷ノ口公園 研修室				401	821

## ■ 運営時間

### 【セントファーレ公共駐車場、田原駅南公共駐車場】

施設名		休館日	利用時間
セントファーレ 公共駐車場	平面駐車場	無休	24時間営業
	地下駐車場	無休	9時～24時
田原駅南公共駐車場		無休	24時間営業

### 【谷ノ口公園】

施設名		休館日	利用時間
谷ノ口公園	・野営場 ・会議室 ・多目的ホール ・研修棟	・月曜日（月曜日が祝祭日、 振替休日にあたるときは、その 翌日） ・年未年始（12月28日から 1月4日まで）	午前9時から午後10時まで。 ただし、野営場の宿泊利用につい ては、使用開始日の午後1時から 利用終了日の午前10時まで。

## ウ 運営状況

### ■ 施設利用スペースの構成

#### 【セントファーレ公共駐車場】

平面駐車場：49 台

地下駐車場：136 台（月極利用区画 91 台）

#### 【田原駅南公共駐車場】

立体駐車場：380 台

#### 【谷ノ口公園】

野営場、炊事棟、会議室、多目的ホール、研修棟、シャワー

### ■ 施設別運営人員

施設名	管理方法	運営人員
セントファーレ公共駐車場	指定管理	1 人
田原駅南公共駐車場	指定管理	無人
谷ノ口公園	指定管理	15 人

### ■ 施設別運営コストの状況（過去5カ年）

#### 【田原市報民倉】

施設の年間トータルコストの平均は、1,754 千円で、うち、施設にかかるコストの平均は 41 千円、人にかかるコストは 1,713 千円となっています。

(単位：千円)

施設名	田原市報民倉							
	項目	H27	H28	H29	H30	R1	合計	年平均
施設にかかるコスト		41	39	44	41	39	204	41
事業運営にかかるコスト		0	0	0	0	0	0	0
人にかかるコスト		1,880	1,698	2,829	1,222	2,467	8,567	1,713
年間トータルコスト		1,921	1,737	2,873	1,263	2,506	8,771	1,754

### 【セントファールレ公共駐車場】

施設の年間トータルコストの平均は、14,934千円で、年間トータルコストのうち、施設にかかるコストは12,601千円、人にかかるコストは2,333千円かかっています。

(単位：千円)

施設名	セントファールレ公共駐車場						
項目	H27	H28	H29	H30	R1	合計	年平均
施設にかかるコスト	10,887	12,326	12,683	12,806	14,305	63,007	12,601
事業運営にかかるコスト	0	0	0	0	0	0	0
人にかかるコスト	2,260	2,260	2,328	2,398	2,420	11,666	2,333
年間トータルコスト	13,147	14,586	15,011	15,204	16,725	74,673	14,934

### 【田原駅南公共駐車場】

施設の年間トータルコストの平均は、14,712千円で、年間トータルコストのうち、施設にかかるコストは10,637千円、人にかかるコストは4,075千円となっています。

(単位：千円)

施設名	田原駅南公共駐車場						
項目	H27	H28	H29	H30	R1	合計	年平均
施設にかかるコスト	10,772	10,512	10,437	10,546	10,919	53,186	10,637
事業運営にかかるコスト	0	0	0	0	0	0	0
人にかかるコスト	4,323	4,360	4,491	4,599	2,603	20,376	4,075
年間トータルコスト	15,095	14,872	14,928	15,145	13,522	73,562	14,712

### 【谷ノ口公園】

施設の年間トータルコストの平均は、31,270千円で、年間トータルコストのうち、施設にかかるコストは24,582千円、人にかかるコストは6,638千円となっています。

(単位：千円)

施設名	谷ノ口公園						
項目	H27	H28	H29	H30	R1	合計	年平均
施設にかかるコスト	603	67,478	43,433	6,493	4,903	122,910	24,582
事業運営にかかるコスト	0	0	98	0	145	243	50
人にかかるコスト	1,816	6,289	8,676	7,030	9,377	33,188	6,638
年間トータルコスト	2,422	73,767	52,207	13,523	14,425	156,341	31,270



## (2) 施設の将来の必要コスト (17 年間)

本計画の対象となっている「その他施設」について、事後保全で単純更新した場合の今後 17 年間に必要となるコストは以下のとおりです。

### ア 将来の更新コスト

(単位：千円)

建物名	田原市 報民倉	セントファール 公共駐車場	田原駅南 公共駐車場	谷ノ口公園	年度別計
R3					
R4					
R5					
R6					
R7			95,925		95,925
R8					
R9				14,336	14,336
R10					
R11				14,336	14,336
R12				6,744	6,744
R13				33,033	33,033
R14		18,207		10,140	28,347
R15	29,217				29,217
R16		1,521,537			1,521,537
R17					
R18					
R19					
施設別計	29,217	1,539,744	95,925	78,589	1,743,475

**イ 将来の維持管理コスト**

(単位：千円)

施設名	施設にかかるコスト	事業運営に係るコスト	人にかかるコスト	施設別計
田原市報民倉	697	0	29,121	29,818
セントファール公共駐車場	214,217	0	39,661	253,878
田原駅南公共駐車場	180,829	0	69,275	250,104
谷ノ口公園	417,894	850	112,846	531,590
計	813,637	850	250,903	1,065,390

**ウ 将来必要となる施設のコスト (更新コスト+維持管理コスト)**

(単位：千円)

施設名	ア 将来の更新コスト	イ 将来の維持管理コスト	施設別計
田原市報民倉	29,217	29,818	59,035
セントファール公共駐車場	1,539,744	253,878	1,793,622
田原駅南公共駐車場	95,925	250,104	347,576
谷ノ口公園	78,589	531,590	710,258
計	1,743,475	1,065,390	2,808,865

### (3) 施設の老朽化状況

#### ア 構造躯体以外の劣化状況等の評価

本市の「その他施設」について、下記のルールに基づき、棟ごとの劣化状況を健全度として算定しました。

建築物の劣化状況等に関する判定基準

良好  
劣化

判定	劣化状況	劣化状況の定量的な判定基準の目安			
		1)ひび割れ 外壁、内部仕上げ等	2)浮き剥離 外壁、内部仕上げ等	3)腐食（錆） 外壁、内部仕上げ等	4)作動不良 電気設備等
A	・全体的に健全である。 ・緊急修繕の必要がなく、日常の維持管理で対応するもの。	劣化部が 全体の0~10% 程度	0~10% 程度	部分的に 錆が発生 (1%以下)	施設が問題なく本来の 機能を維持している状 態（築10年を目安）
B	・全体的に健全であるが、部分的な劣化が進行している。 ・緊急修繕の必要はないが、維持管理の中で定期的な観察が必要なもの	10~40% 程度	10~30% 程度	部分的に 錆が発生 (1%を超え33%未満)	多少の不具合が確認 されるが、施設は機能 している状態 (築20年を目安)
C	・全体的に劣化が進行している。 ・現時点では重大な事故につながらないが、利用し続けるためには部分的な補修が必要なもの。	40~70% 程度	30~50% 程度	部分的に 錆が発生 (33%を超え50%未満)	明らかに不具合箇所 があり、施設の機能が部 分的に損なわれている 状態（築30年を目 安）
D	・全体的に顕著な劣化がある。 ・重大な事故に繋がるおそれがあり、施設の利用禁止あるいは、緊急の補修が必要なもの。	70~100% 程度	50~100% 程度	部分的に 錆が発生 (50%以上)	施設本来の機能を全く 維持していない状態 (築40年以上を目 安)

部位の評価点

判定	評価点
A	100
B	75
C	40
D	10

部位のコスト配分

部位	コスト配分
屋上・屋根	5.1
外壁	17.2
内部仕上	22.4
電気設備	8.0
機械設備	7.3
合計	60.0

健全度の算定方法

$$\text{健全度} = (\text{部位の評価点} \times \text{部位のコスト配分}) \div 60.0$$

健全度の計算例

部位	判定	評価点	コスト配分		
屋上・屋根	A	100	5.1	×	510.0
外壁	B	75	17.2	×	1290.0
内部仕上	C	40	22.4	×	896.0
電気設備	A	100	8.0	×	800.0
機械設備	B	75	7.3	×	547.5
合計					4,043.5
					÷60
<b>健全度</b>					<b>67</b>

(出典：田原市学校未来創造計画)

以下の表は、財産台帳を基に、前頁のルールに従い棟ごとの劣化状況を整理したものです。

建物情報						劣化状況評価					備考
施設 I D	施設名	建物 I D	建物名	建築年度		屋根・ 屋上	外 壁	内 部 仕 上	電 機 設 備	健全度	
				西暦	和暦						
341	田原市報民倉	1157	防災備蓄倉庫	2003	H15	A	B	A	A	92	

A: 概ね良好

C: 広範囲に劣化

B: 部分的に劣化

D: 早急に対応する必要がある

建物情報						劣化状況評価					備考
施設 I D	施設名	建物 I D	建物名	建築年度		屋根・ 屋上	外 壁	内 部 仕 上	電 機 設 備	健全度	
				西暦	和暦						
43	セントファールレ公共 駐車場	198	通路階段	2004	H16	B	B	B	B	75	
43	セントファールレ公共 駐車場	199	地下駐車場	2004	H16	B	B	B	B	75	

A: 概ね良好

C: 広範囲に劣化

B: 部分的に劣化

D: 早急に対応する必要がある

建物情報						劣化状況評価					備考
施設 I D	施設名	建物 I D	建物名	建築年度		屋根・ 屋上	外 壁	内 部 仕 上	電 機 設 備	健全度	
				西暦	和暦						
143	田原駅南公共 駐車場	819	自動車庫	2010	H22	B	B	B	A	78	
287	谷ノ口公園	1090	管理棟	2012	H24	A	A	A	A	100	
287	谷ノ口公園	1091	管理棟	2014	H26	A	A	A	A	100	
287	谷ノ口公園	1127	四阿	2015	H27	A	A	A	A	100	
287	谷ノ口公園	1128	炊事棟	2015	H27	A	A	A	A	100	
287	谷ノ口公園	1129	倉庫	2015	H27	A	A	A	A	100	
287	谷ノ口公園	1173	多目的ホール	2016	H28	A	A	A	A	100	
287	谷ノ口公園	1183	研修棟	2017	H29	A	A	A	A	100	

A: 概ね良好

C: 広範囲に劣化

B: 部分的に劣化

D: 早急に対応する必要がある

#### (4) 施設評価

##### ア 1人当たりにかかるコスト

年間トータルコストと各年の利用人数から、各施設1人当たりにかかる過去5か年のコスト比較は以下のとおりです。

(単位：円)

	H27	H28	H29	H30	R1
セントファール公共駐車場	14	15	16	17	19
田原駅南公共駐車場	243	263	259	247	203
谷ノ口公園			4,902	1,265	862

##### イ 床面積1㎡当たりにかかるコスト

年間トータルコストと床面積から、各施設1㎡当たりの過去5か年のコスト比較は以下のとおりです。

(単位：円)

	H27	H28	H29	H30	R1
セントファール公共駐車場	1,868	2,073	2,133	2,161	2,377
田原駅南公共駐車場	3,193	3,146	3,158	3,204	2,861
谷ノ口公園			107,406	27,821	29,677

##### ウ 施設健全度

田原市報民倉は、建築後17年経過していますが、施設・設備とも多少の老朽化・劣化が見られるものの、施設健全度はまだ高い数値を維持しています。

セントファール公共駐車場は、建築後17年経過しており、部分的に老朽化が進行しています。

田原駅南公共駐車場は、全体的な健全度は高いものの、部分的な劣化が見られます。

谷ノ口公園は、築年数が浅く、施設・設備は良好な状態です。

### 3 対策の優先順位の考え方

以下の内容を総合的に勘案して、施設間における対策の優先順位を検討し、長寿命化等に取り組みます。

#### (1) 施設の状態

田原市報民倉	築年数が浅いこともあり、現状においては健全な施設管理が行われていますが、長期的には施設改修が必要となってきます。
セントファーレ公共駐車場	指定管理により、日々施設管理を行ってきていますが、年数が経過しているの で、部分的に修繕を行っています。
田原駅南公共駐車場	建築から約 10 年が経過しており、全体の健全度は高いものの、部分な劣化が あり、メンテナンスが必要になっています。
谷ノ口公園	築年数が浅く健全度が高いため、当面は大規模な修繕は要しません。

#### (2) 施設が果たしている役割等

田原市報民倉	今後 30 年間で 70～80%の確率で発生するといわれている南海トラフ地震や、 頻発・激甚化する気象災害に備えるため、拠点備蓄倉庫として活用しています。
セントファーレ公共駐車場	市民の利便性に加え、中心市街地の活性化に寄与しています。
田原駅南公共駐車場	中心市街地や田原駅の利用者の交通利便性の向上に寄与しています。
谷ノ口公園	公園、野営場としてレクリエーションの場を提供しています。

#### (3) 施設整備の基本的な方針

##### ア 施設の規模・配置等の方針

田原市報民倉	物品によっては、分散備蓄の推進・拡充を図っていますが、市民が安心して生 活を送るためにも、公的備蓄物品の備蓄拠点は必要であり、継続して維持し ていく必要があります。
セントファーレ公共駐車場	市民の利便性、中心市街地の活性化のため、継続して維持していきます。 民間活用によるサービスの向上や管理運営の効率化を図ります。
田原駅南公共駐車場	市民の利便性、中心市街地の活性化のため、継続して維持していきます。 民間活用によるサービスの向上や管理運営の効率化を図ります。
谷ノ口公園	公園、キャンプ場として継続して維持していきます。 民間活用によるサービスの向上や管理運営の効率化を図ります。

##### イ 今後の方向性

###### ■ 現状の規模や機能を維持する施設

田原市報民倉、セントファーレ公共駐車場、田原駅南公共駐車場、谷ノ口公園

#### (4) 改修等の基本的な方針

##### ア 施設の目標使用年数、改修周期の設定等

本市の「その他施設」に係る目標使用年数、改修周期等を次のとおり設定します。

建物の耐用年数については、考え方が様々ありますが、法定耐用年数を上回る目標使用年数を設定し、予防保全による施設の長寿命化に取り組む必要があります。物理的な耐用年数は、構造、立地条件、使用状況の違いなどによっても大きく左右されますが、目標使用年数は、「建築物の耐久計画に関する考え方」（（社）日本建築学会）を参考に設定しています。また、日々の施設の点検等により、劣化、破損あるいはその拡大を未然に防ぐ予防保全の手法で、目標使用年数の達成を目指します。

【参考】「建築物の耐久計画に関する考え方」（（社）日本建築学会）

構 造	目標耐用年数	上限値	平均値
RC造、SRC造、S造	50年～80年	<b>80年</b>	65年
木造	30年～50年	<b>50年</b>	40年

##### 目標使用年数、改修周期等

		目標使用年数	修繕の周期	改修の周期
長寿命化型 (予防保全)	RC造、SRC造、S造	80年	20年	40年
	木造	50年	15年	30年
従来型(事後保全)		60年	15年	30年

※従来型(事後保全)は、木造も含めて目標使用年数は一律60年で設定しています。

##### 整備方法の定義

整備方法	定義
修繕	施設、設備、構造物等の機能維持のために必要となる補修・修繕などで、補修・修繕後の効用が当初の効用を上回らないもの。屋根や外壁の塗り替え、亀裂の補修など。
改修(長寿命化改修)	公共施設等を直すもので、改修後の効用が当初の効用を上回るもの。耐震改修、長寿命化改修など。転用も含む。
更新(建替)	老朽化等に伴い機能が低下した施設等を取り替え、同程度の機能に再整備すること。除却も含む。

## イ 長寿命化の方針

### 長寿命化の方針

田原市公共施設等総合管理計画	劣化の状況に応じて、適切な時期に適切な改修・修繕等を行い、施設の長寿命化による公共施設（建築物）の更新費用、ライフサイクルコストの削減を図ります。
----------------	---

長寿命化にあたっては、本市の公共施設（建築物）の全施設を比較して、更新コストが一定期間に集中した場合は、市の財政負担を考慮して、優先度の高い施設を優先し、一部を先送りにするなど、コストの平準化を図り、実現性を高めております。また、個別施設計画の対象となっている施設の中でも、小規模な倉庫や自転車置き場など、更新コストが比較的少ない建物については、予防保全としての長寿命化対策は実施せず、事後保全としての修繕等に対応することとします。

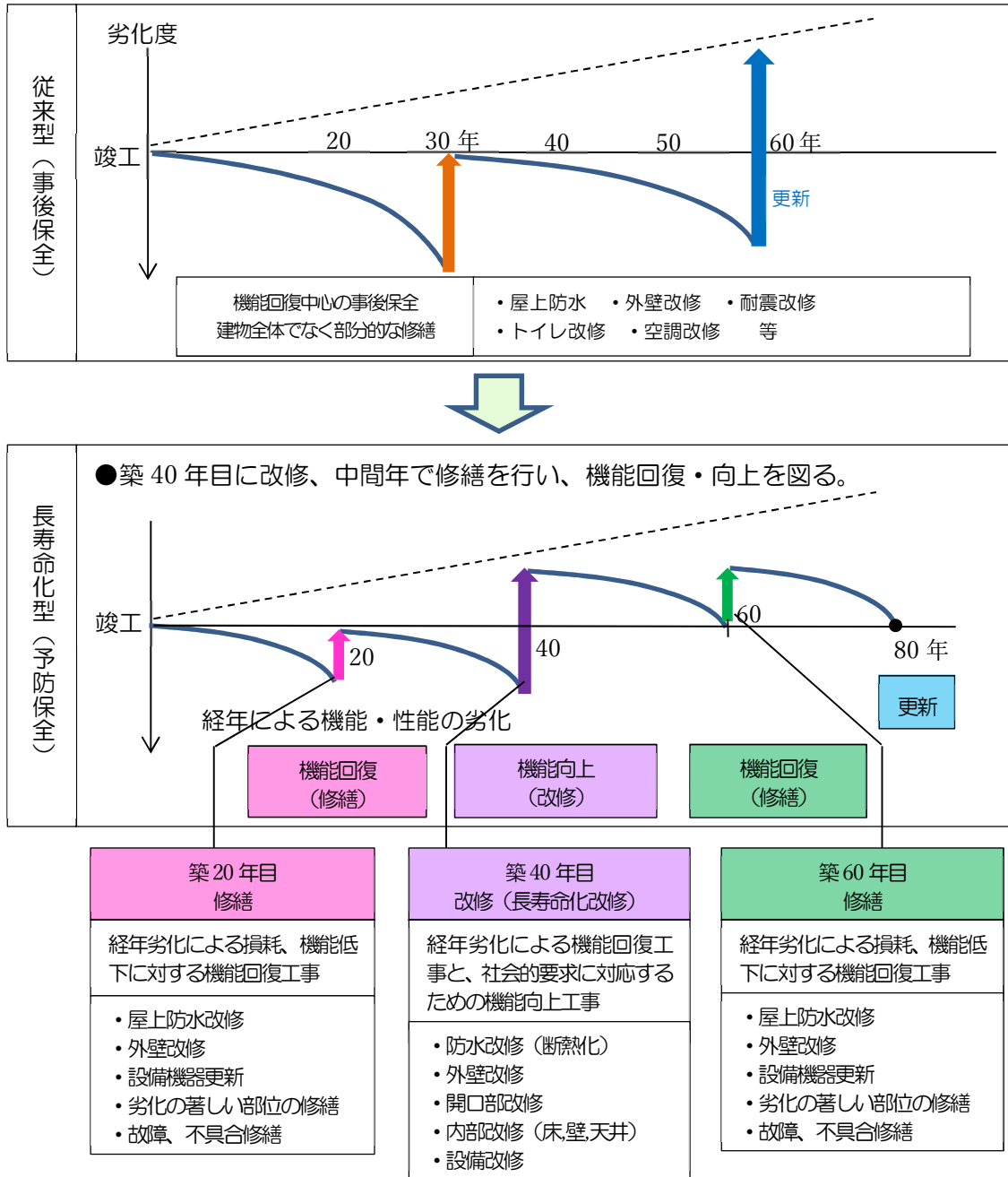
## ウ 予防保全の方針

施設特性や安全性・経済性を考慮しつつ、定期的に劣化の有無や兆候を調査・把握し、劣化の状態を予測したうえで、計画的に改修・修繕等を実施し、施設機能の保持・回復を図り、予防保全に努めます。

これにより、施設の安心・安全を確保するとともに、維持・更新に係るコストの軽減や平準化を図ります。



◆従来型と長寿命化型の対策イメージは以下のとおりです。



(5) 対策内容と実施時期

(単位：千円)

施設名	建物	建築年度	計画期間										
			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
田原市 報民倉	防災備蓄倉庫	H15			修繕								
					5,316								
対策費用計					5,316								

施設名	建物	建築年度	計画期間										対策費用計
			R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19				
田原市 報民倉	防災備蓄倉庫	H15											
													5,316
対策費用計													5,316

(単位：千円)

施設名	建物	建築年度	計画期間										
			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
セントファール 公共駐車場	通路階段	H16							修繕				
									45,688				
	地下駐車場	H16							修繕				
									272,151				
対策費用計									317,839				

施設名	建物	建築年度	計画期間										対策費用計		
			R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19						
セントファール 公共駐車場	通路階段	H16													45,688
	地下駐車場	H16								修繕				18,207	290,358
対策費用 計										18,207				336,046	

(単位：千円)

施設名	建物	建築年度	計画期間												
			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12			
田原駅南公 共駐車場	自動車車庫	H22													
対策費用 計															

施設名	建物	建築年度	計画期間										対策費用計		
			R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19						
田原駅南公 共駐車場	自動車車庫	H22		修繕											95,925
対策費用 計				95,925											95,925

(単位：千円)

施設名	建物	建築 年度	計 画 期 間										
			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
谷ノ口公園	管理棟	H24							修繕				
									14,336				
	管理棟	H26								修繕			
										14,336			
	炊事棟ほか	H27										修繕	
												6,250	
	多目的ホール	H28											
	研修棟	H29											
対策費用 計									14,336		14,336	6,250	

施設名	建物	建築 年度	計 画 期 間									対策費用計		
			R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19					
谷ノ口公園	管理棟	H24												
														14,336
	管理棟	H26												
														14,336
	炊事棟ほか	H27												
														6,250
	多目的ホール	H28	修繕											
			33,033											33,033
	研修棟	H29		修繕										
				10,140										10,140
対策費用 計			33,033	10,140										78,095

## (6) 長寿命化のコストの見通し、効果

従来型（事後保全）の60年で建て替えるサイクルから、長寿命化型（予防保全）の80年（木造は50年）で建て替えるサイクル（木造は50年）に転換した場合、計画期間である17年間で、更新コストは1,228,093千円の削減が見込まれます。

### ■更新コスト（17年間）

（単位：千円）

	田原市 報民倉	セントファーレ公共 駐車場	田原駅南公 共駐車場	谷ノ口公園 ※	計
従来型	29,217	1,539,744	95,925	78,589	1,743,475
長寿命化型	5,316	336,046	95,925	78,095	515,382
効果額	23,901	1,203,698	0	494	1,228,093

※谷ノ口公園は、木造のため50年で建替えの方針のため、コスト比較については参考値です。

## 4 計画の推進

### (1) 推進体制等の整備

ファシリティマネジメント担当課である企画課や財政関連の担当課である財政課、技術職を有する建築課と情報共有を図りながらマネジメントを行っていますが、必要に応じて田原市公共施設等適正化推進会議等を活用し、全庁的な体制で対応を図ります。

### (2) フォローアップの体制

社会情勢の変化や施設の劣化状況等により、変更の必要が生じたときは、柔軟に計画の見直しを実施します。また、計画に位置付けられた事業は、田原市総合計画の実施計画の中で平準化するなど、実施年次及び個別の事業費を精査するとともに、補助金、地方債などを積極的に活用し、財源の確保を図りながら、与えられた財源の中で実現を目指します。